

はじめに

城西国際大学
情報科学研究センター

所長 袁 福之

これからの知識社会において、IT(情報通信技術)を使いこなす能力は、生活と仕事の上で必要不可欠です。情報や知識の取捨選択・蓄積・共有・活用・組織化・創造のためには高度なIT能力が必要です。ITは問題を解決したり新しい価値を創造したりする上で決定的に重要な役割を果たしています。またITは自分の想像力と創造力を増幅し、自分の夢や理想を実現するためのクリエイティブなツールでもあります。テクノロジーとしてのIT、アートとしてのIT、大学ではITを幅広く学ぶことができます。

大学は 3,000 を超える情報コンセント、ギガビットの光ファイバー構内ネットワーク、映像スタジオ、デジタルコンテンツ制作のメディアラボ、情報図書館の水田記念図書館など、最先端の情報メディア環境を整えています。情報リテラシーの授業を通じてドキュメンテーション(文書作成)、コミュニケーション(情報伝達)、プレゼンテーション(表現説得)、シミュレーション(情報分析・仮説検証)の能力を学ぶことができます。プログラミング、情報ネットワーク、データベース、情報システム、統計解析、映像制作、画像処理、コンピュータグラフィックス(CG)、地理情報システムなど多彩な授業があります。ケータイや iPod 向けのネット配信、オンデマンド出版、電子ブックの制作を学ぶ授業もあります。様々なIT資格講座も開催されています。ぜひともこれらの機会を利用して自分自身の可能性を広げてほしいと思います。

ITは便利で非常に強力なツールです。しかし一方ではメル友の事件にみられるように、利用の仕方によっては被害者や加害者になってしまうケースも少なくありません。ネット販売、ネットオークションに関するトラブルも絶えません。暗証番号やクレジットカード番号などを詐取する詐欺も横行しています。ネットの匿名性を利用して、相手に対する誹謗中傷や掲示板荒らしを、軽い気持ちでやってしまうケースもあります。これらの不正行為は法的責任が問われる場合もあります。このような被害者や加害者にならないように、注意してほしいと思います。

ネチケット(ネットワーク上のエチケット)や「情報メディアに関する倫理と規則」を守るとともに、リスクも認識し自己防衛の意識と方法をきちんと身につけてほしいと思います。大学主催の様々なガイダンス・講習会にも参加し、掲示もよく見てください。トラブルに遭った場合、先生や情報科学研究センターを信頼してよく相談してください。

ITとメディアを学ぶことを通じて自分の能力と可能性を再発見し、夢をカタチにするための一歩を踏み出してほしいと思います。大学の教職員一同は皆さんの成長とチャレンジを支援していきます。